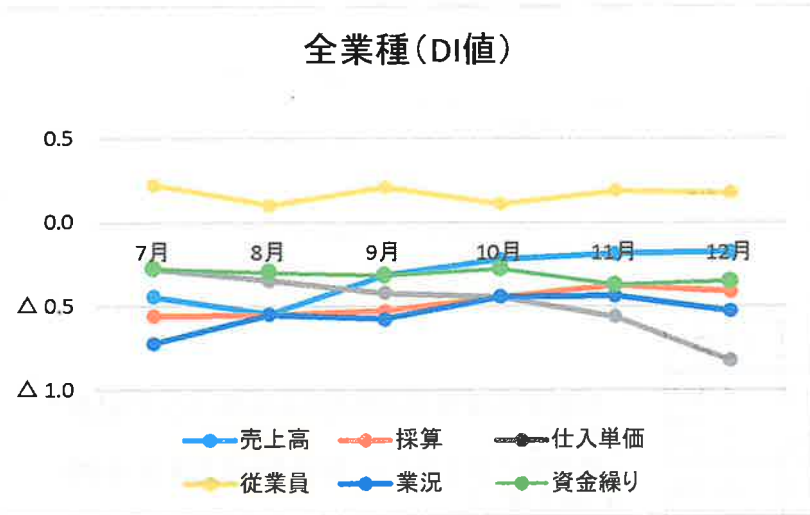


白河商工会議所LOBO調査結果(令和3年12月分)

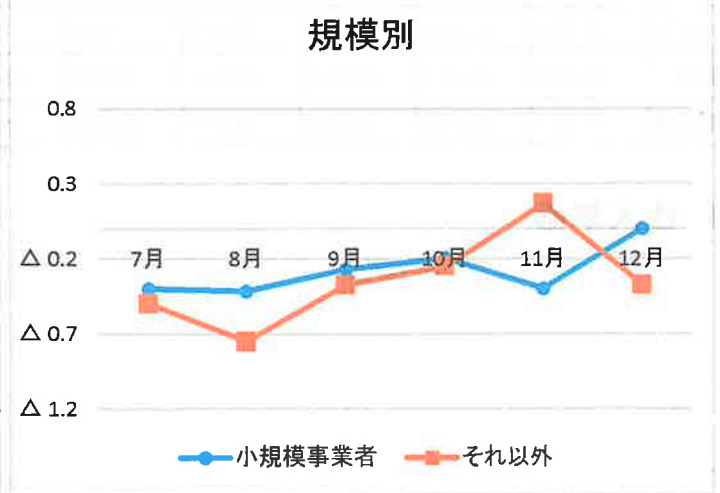
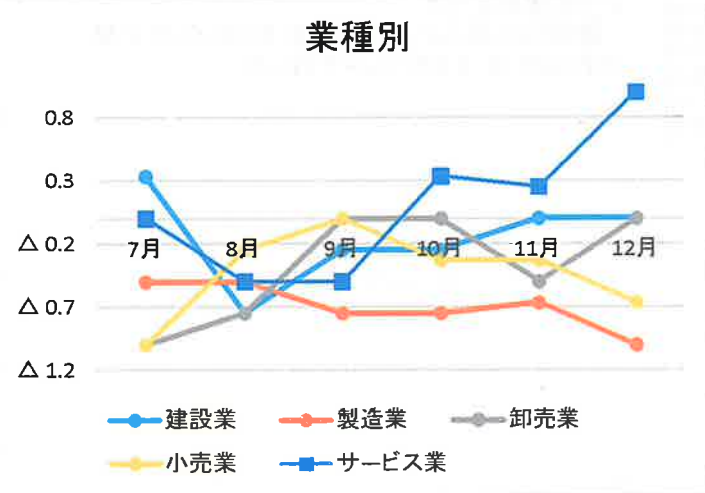
実施期間: 令和3.12. 13~12.17 回答事業所: 17事業所

1, 全業種DI値



12月の全業種DI値を見ると、業況が-0.1ポイント、仕入単価が-0.2ポイント下降した。
一方、売上高、採算、従業員、資金繰りは横ばいとなった。

2, 売上高



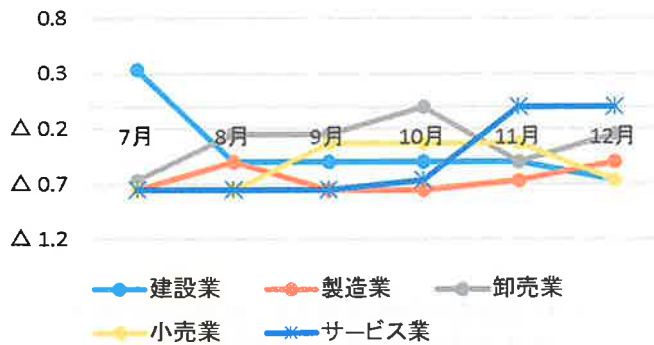
売上DIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2
建設	0.3	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0
製造	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.7	△ 1.0
卸売	△ 1.0	△ 0.8	0.0	0.0	△ 0.5	0.0
小売	△ 1.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.7
サービス	0.0	△ 0.5	△ 0.5	0.3	0.3	1.0
小規模	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.4	0.0
それ以外	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.4	△ 0.3	0.2	△ 0.4

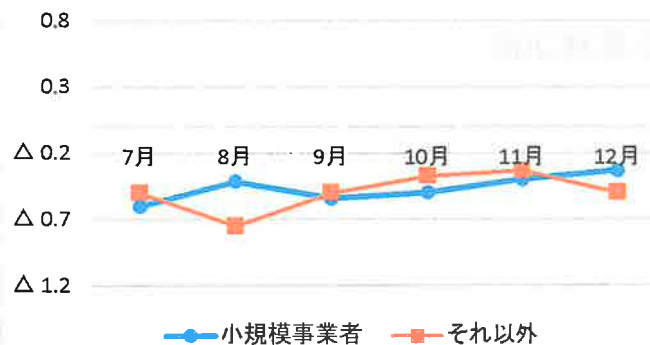
全産業の売上DIは前月から横ばいとなった。
業種別に見てみると、サービス業は+0.7ポイント、卸売業は+0.5ポイント上昇した。
一方、小売業は-0.4ポイント、製造業は-0.3ポイント下降した。
規模別に見ると小規模は+0.4ポイント上昇、それ以外は-0.6ポイント下降という結果となった。

3. 採算

業種別



規模別



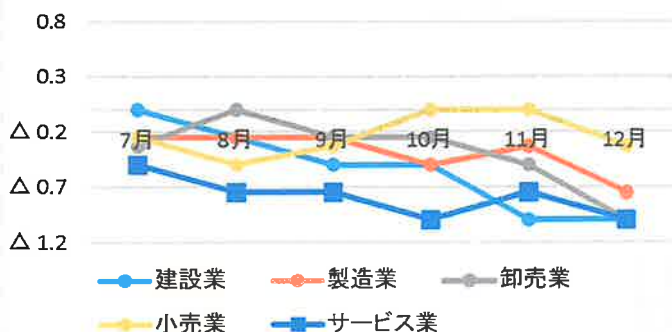
採算DIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	Δ 0.6	Δ 0.6	Δ 0.5	Δ 0.4	Δ 0.4	Δ 0.4
建設	0.3	Δ 0.5	Δ 0.5	Δ 0.5	Δ 0.5	Δ 0.7
製造	Δ 0.8	Δ 0.5	Δ 0.8	Δ 0.8	Δ 0.7	Δ 0.5
卸売	Δ 0.7	Δ 0.3	Δ 0.3	0.0	Δ 0.5	Δ 0.3
小売	Δ 0.8	Δ 0.8	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.7
サービス	Δ 0.8	Δ 0.8	Δ 0.8	Δ 0.7	0.0	0.0
小規模	Δ 0.6	Δ 0.4	Δ 0.5	Δ 0.5	Δ 0.4	Δ 0.3
それ以外	Δ 0.5	Δ 0.8	Δ 0.5	Δ 0.4	Δ 0.3	Δ 0.5

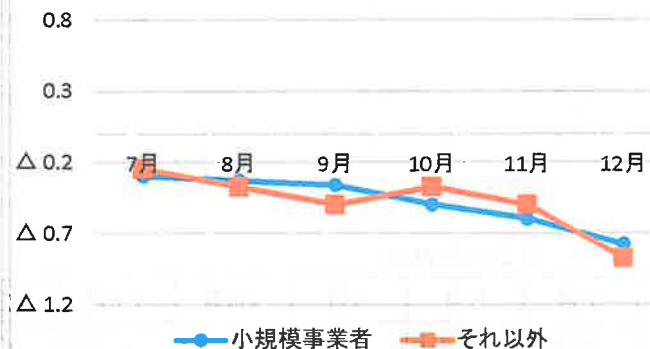
全産業の採算DIは前月から横ばいという結果となった。
業種別に見てみると、製造業・卸売業は+0.2ポイント上昇した。
一方で小売業は-0.4ポイント、建設業は-0.2ポイント下降した。サービス業は前月から横ばいという結果となった。
規模別に見ると、小規模は+0.1ポイント上昇、それ以外は-0.2ポイント下降した。

4. 仕入単価

業種別



規模別



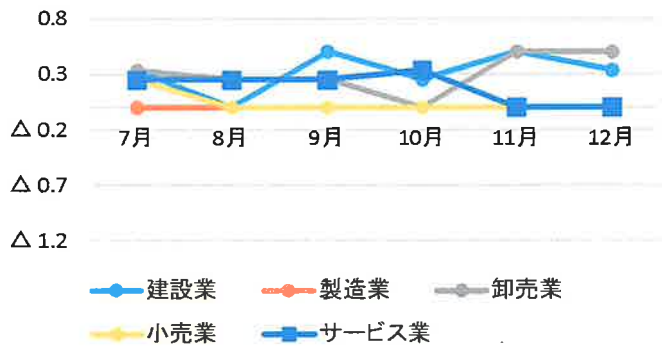
仕入単価DIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	Δ 0.3	Δ 0.4	Δ 0.4	Δ 0.4	Δ 0.6	Δ 0.8
建設	0.0	Δ 0.3	Δ 0.5	Δ 0.5	Δ 1.0	Δ 1.0
製造	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.5	Δ 0.3	Δ 0.8
卸売	Δ 0.3	0.0	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.5	Δ 1.0
小売	Δ 0.3	Δ 0.5	Δ 0.3	0.0	0.0	Δ 0.3
サービス	Δ 0.5	Δ 0.8	Δ 0.8	Δ 1.0	Δ 0.8	Δ 1.0
小規模	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.4	Δ 0.5	Δ 0.6	Δ 0.8
それ以外	Δ 0.3	Δ 0.4	Δ 0.5	Δ 0.4	Δ 0.5	Δ 0.9

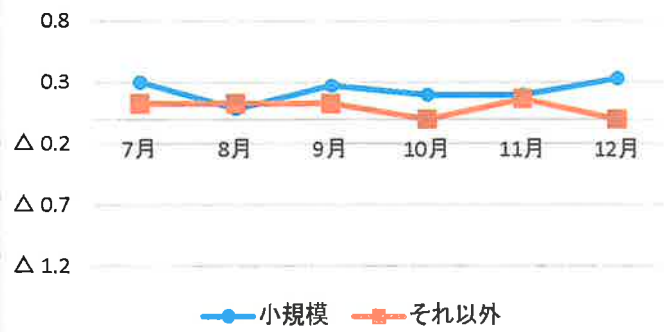
仕入単価の全産業DIは前月から-0.2ポイント下降した。
業種別にみると、製造業・卸売業は-0.5ポイント、小売業は-0.3ポイント、サービス業は-0.2ポイント下降した。建設業は横ばいという結果となった。
規模別に見ると、小規模は-0.2ポイント、それ以外は-0.4ポイント下降という結果となった。

5. 従業員

業種別



規模別



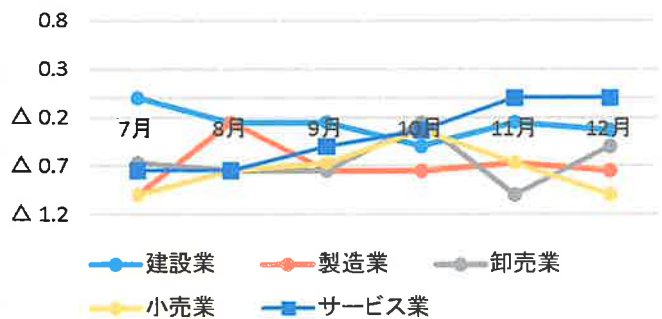
従業員DIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2
建設	0.3	0.0	0.5	0.3	0.5	0.3
製造	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売	0.3	0.3	0.3	0.0	0.5	0.5
小売	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0
小規模	0.3	0.1	0.3	0.2	0.2	0.3
それ以外	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0

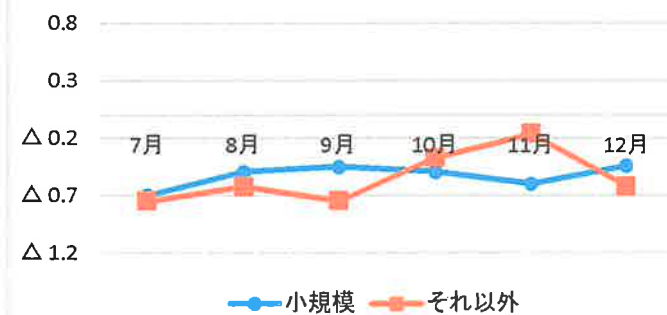
従業員の全産業DIは前月から横ばいとなった。
業種別にみると、建設業は-0.2ポイント下降した。製造業・卸売業・小売業・サービス業は横ばいとなった。
規模別にみると、小規模は+0.1ポイント上昇、それ以外は-0.2ポイント下降した。

6. 業況

業種別



規模別



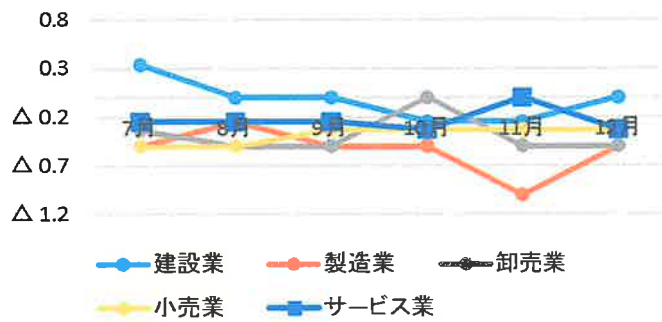
業況DIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5
建設	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3
製造	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.8
卸売	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.5
小売	△ 1.0	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.7	△ 1.0
サービス	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.3	0.0	0.0
小規模	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.4
それ以外	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.8	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.6

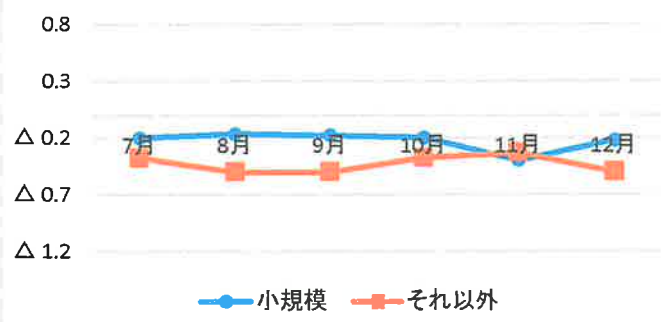
業況の全産業DIは前月から-0.1ポイント下降している。
業種別に見ると、卸売業が+0.5ポイント上昇した。
一方、小売業は-0.3ポイント、製造業は-0.1ポイント下降した。建設業・サービス業は横ばいとなっている。
規模別で見ると、小規模は+0.2ポイント上昇し、それ以外は-0.4ポイント下降という結果となった。

7, 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全産業	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.4	Δ 0.4
建設	0.3	0.0	0.0	Δ 0.3	Δ 0.3	0.0
製造	Δ 0.5	Δ 0.3	Δ 0.5	Δ 0.5	Δ 1.0	Δ 0.5
卸売	Δ 0.3	Δ 0.5	Δ 0.5	0.0	Δ 0.5	Δ 0.5
小売	Δ 0.5	Δ 0.5	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.3
サービス	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.3	Δ 0.3	0.0	Δ 0.3
小規模	Δ 0.2	Δ 0.2	Δ 0.2	Δ 0.2	Δ 0.4	Δ 0.2
それ以外	Δ 0.4	Δ 0.5	Δ 0.5	Δ 0.4	Δ 0.3	Δ 0.5

資金繰りの全産業合計DIは前月から横ばいとなった。

業種別に見ると製造業は+0.5ポイント、建設業は+0.3ポイント上昇した。

一方でサービス業は-0.3ポイント下降した。小売業・卸売業は横ばいとなった。

規模別に見ると、小規模は+0.2ポイント上昇、それ以外は-0.2下降した。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

1-1 新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①深刻なマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が50%超減少)		1				1
②大きなマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が30%程度減少)		1	2	1		4
③ある程度のマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が10%程度減少)	1	1	1		2	5
④現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある	2	1	1	2	1	7
⑤影響はない						0
⑥分からない						0
⑦回答不能						0

2.付帯調査【賃上げについて】

2-1 貴社の正社員における2021年度の賃上げについて

	建	製	卸	小	サ	合計
①業績が改善しているため(見込み含む)、賃上げを実施した(予定含む)			1	1		2
②業績の改善がみられないが(見込み含む)、賃上げを実施した(予定含む)	1	1	3		1	6
③賃金は同水準を維持する	2	2		1	1	6
④賃金は引き下げる						0
⑤現時点では未定						0
⑥回答不能		1		1	1	3

2-2 貴社の正社員における2021年度の賃上げの内容について ※質問2-1で選択肢1~2と回答した方に ※複数回答可

	建	製	卸	小	サ	合計
①定期昇給を実施した(予定含む)		1		2		3
②ベースアップを実施した(予定含む)	1		2	2	1	6
③手当の新設・増額(予定含む)(例:住宅手当や家族手当、役職手当の増額など)			1			1
④一時金(賞与)を増額した(予定含む)	1		2			3
⑤回答不能	2	3		1	2	8

2-3 正社員の賃上げを行う理由について ※質問2-1で選択肢1~2と回答した方に ※複数回答可

	建	製	卸	小	サ	合計
①人材確保・定着やモチベーション向上のため	1		3	1	1	6
②最低賃金が引き上げられたため		1	1	1		3
③新卒採用者の初任給や非正規社員の給与を引き上げたため (例:初任給が既存の社員の給与を上回ってしまうことを防ぐため)				1		1
④時間外労働の削減により手取り額が減少しているため						0
⑤社会保険料の増加により手取り額が減少しているため				1		1
⑥他社より低い賃金になっているため					1	1
⑦数年来、賃上げを見送っていたため						0
⑧物価が上昇しているため				1		1
⑨税制の優遇措置(所得拡大促進税制)を利用するため						0
⑩その他→具体的内容はコメント欄に記入をお願いします。						0
⑪回答不能	2	3			2	7

2-4 正社員の賃上げを見送る、もしくは未定とする理由について ※質問2-1で選択肢3~5と回答した方に ※複数回答可

	建	製	卸	小	サ	合計
①今後の経営環境・経済状況が不透明なため	2	2			1	5
②業績の改善がみられないため(見込み含む)	1	2				3
③社会保険料の増加により会社負担が増えているため						0
④すでに他社と同水準(もしくはそれ以上)の賃金になっているため	1					1
⑤増員(予定を含む)による総人件費の増加を抑えるため					1	1
⑥新商品開発や販路開拓、設備投資等を優先するため		1				1
⑦非正規社員の賃金(時給等)を上げる一方で、総人件費の増加を抑えるため		1				1
⑧研修や福利厚生を充実させるため						0
⑨その他→具体的内容はコメント欄に記入をお願いします。		1				1
⑩回答不能	1	2	4	3	2	12

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響についての付帯調査では、「影響がある」と答えた事業所は58%だった。現在は影響がない事業所も、オミクロン株の影響がでる可能性を懸念している。
 正社員における2021年度の賃上げについての付帯調査では、「業績の改善がみられないが、賃上げを実施した」、「賃金は同水準を維持する」と答えた事業所はそれぞれ35%だった。
 正社員における2021年度の賃上げの内容について、最も多かった回答は「ベースアップを実施した(予定含む)」だった。業績が改善しない限り、ベースアップは難しいという意見も寄せられている。
 賃上げを行う理由については「人材確保・定着やモチベーション向上のため」が最も多かった。
 正社員の賃上げを見送る、もしくは未定とする理由についての付帯調査では、「今後の経営環境・経済状況が不透明なため」という回答が最も多かった。オミクロン株が流行し始めているため、賃上げは様子見せざるをえないという意見も寄せられている。